

平成27年5月1日

運輸安全委員会

航空事故調査に関する安全情報の提供について

運輸安全委員会は、本日、国土交通省航空局に対し、以下のとおり情報提供を行いました。

なお、当該事項が本事故にどのように関与したかについては、引き続き調査中です。

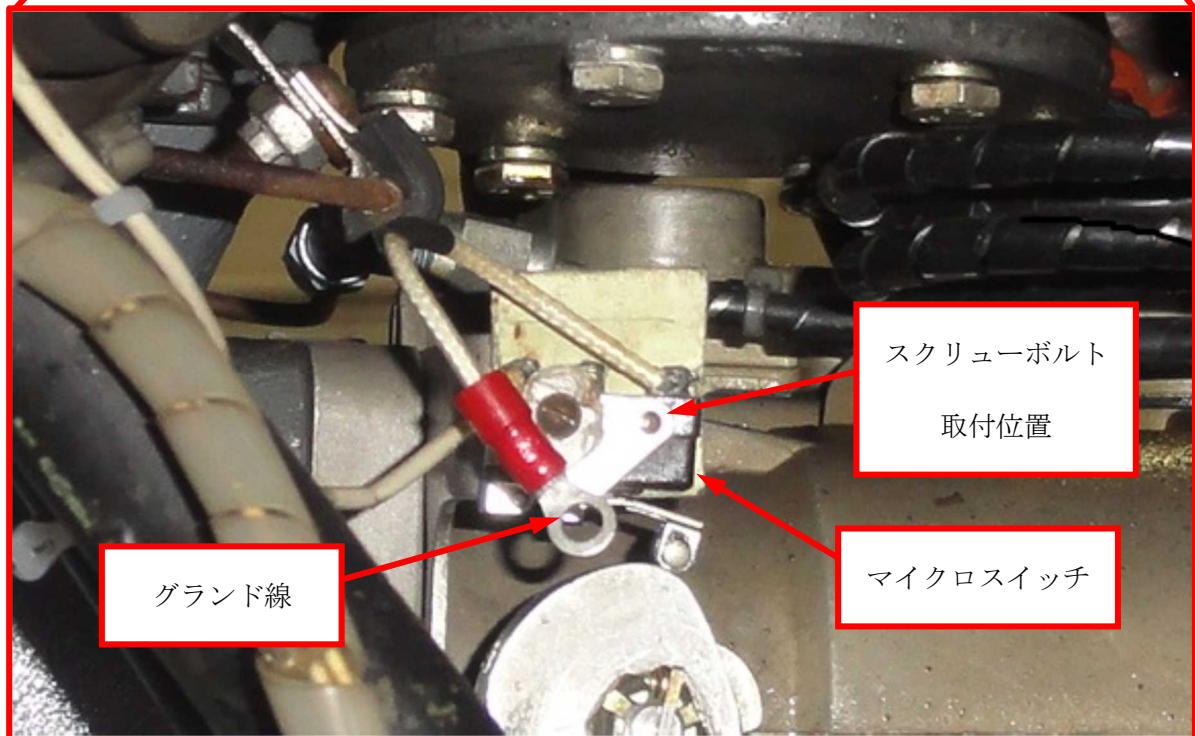
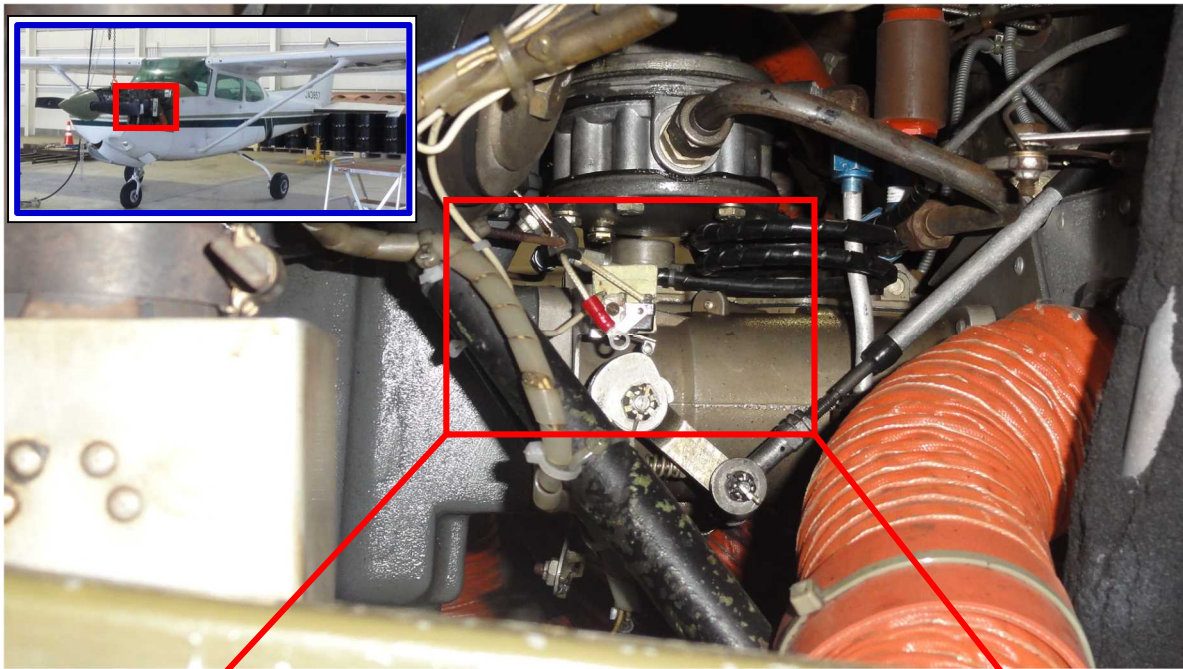
1 事故の概要

個人所属JA3857（セスナ式172RG型）は、平成27年4月26日（日）、慣熟飛行のため、石見空港を出発し、鹿児島空港に着陸した際、胴体着陸となり、機体が損傷した。

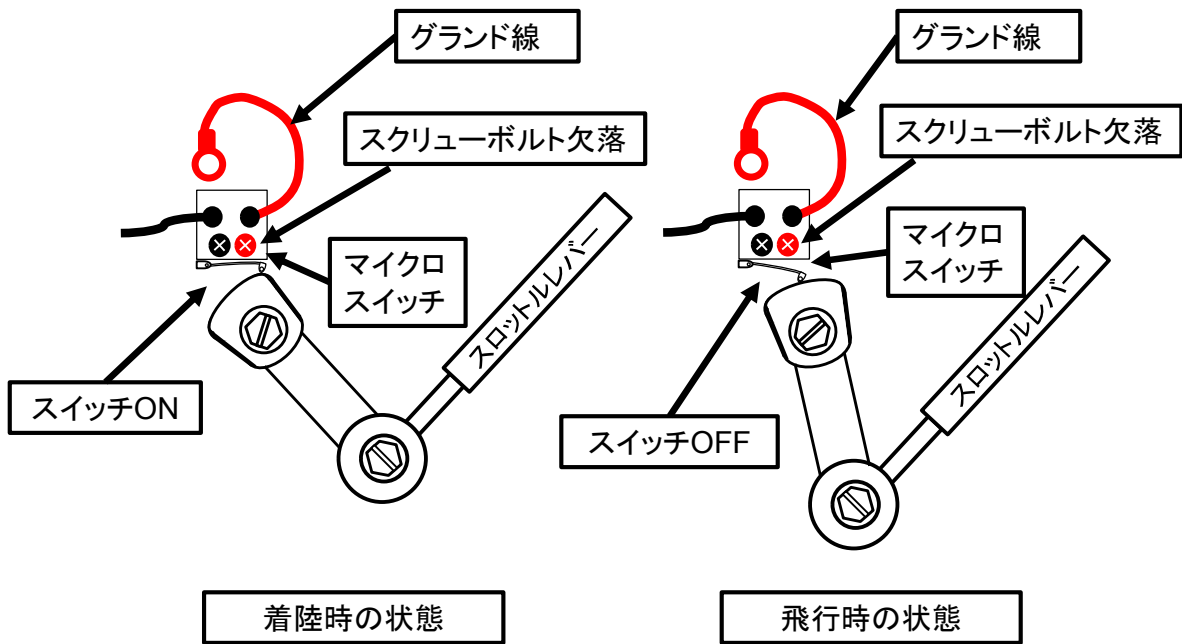
2 情報提供

現在までの調査の結果、ギアワーニング（脚警報）に関し、次の事項が判明した。

- (1) スロットル・コントロール・リンケージ部に取り付けられていたマイクロスイッチを取り付ける2つのスクリーボルトのうち片方が欠落しており、マイクロスイッチのグランド線が外れていた。
- (2) ギアを上げた状態で、スロットル（エンジン出力）を着陸時の状態にしても、ギアワーニングは動作しなかった。



スロットル・コントロール・リンケージ部のマイクロスイッチ



マイクロスイッチの動作状況 簡易図

ギアの状態	スロットルの状態	ギアワーニング
DOWN	着陸状態	作動しない
DOWN	飛行状態	作動しない
UP	着陸状態	作動
UP	飛行状態	作動しない

ギアワーニングの機能（正常時）